

コミュニティとしてのサークル

学友会会長・学長 平川 新

新入生のみなさん、宮城学院女子大学へようこそ。そして在学生のみなさん、この4月から本学の学長に就任しました平川です。どうぞよろしく、お願いいたします。

大学は「学び」の場です。その「学び」の基本は、学術に関する知識を身につける学問の探究にあります。学問には、ひととして基礎的な思考方法や教養を身につけるリベラル・アーツな要素と、特定の学術分野を深く探求する専門研究の要素があります。

大学に入学した以上、そのいずれも、わがものとして習得していただきたいと期待していますが、大学が提供している、もうひとつの大きな要素は、多くの人々との出会いの場であるということです。

教師との出会いが、そのひとの将来の進路に大きな影響を与えることはよくあることですが、友人との出会いも大学での生活のありかたに、とても大きな変化をもたらすこととなります。

その友人との出会いは、授業のクラスにもありますが、サークル活動も多くの出会いの場になっています。サークル活動でつながりあった親密さは、卒業したあとまで続きます。それは、サークルが親密なコミュニティ（共同体）の役割をはたしているからです。同じスポーツや技芸を学び楽しむという行為は、同じ方向を向き、同じ時間を共有している者として、たいへん強い仲間としての感覚を築いていきます。

仲間がいるということは、そこに自分の居場所があるということです。サークルというコミュニティは、あなたに、心地よい、しかし時にはスリリングな居場所を提供します。そこで多くのひとと出会い、仲間を作り、語り合い、議論をして、あなたの学生生活を豊かなものにしていってください。

宮城学院女子大学は、みなさんに、多くの教養と専門知識を身につける学問の場を提供すると共に、お互いに影響し合いながら人格をみがき、共に成長していく仲間を見つける場も提供しています。「切磋琢磨」という言葉には、友人同士が互いに励まし合い競争し合って共に向上すること、という意味があります。学問や精神・人格をみがき、向上するという意味もあります。大学とサークルを、みなさんの「切磋琢磨」する場として活用することを期待しています。